

日本語の補助動詞「ておく」の構造の用法分析  
( 形態統語論および意味論から見る )

RYAN PURNOMO SIDI

0642025



マラナタキリスト教大学

文学部

日本文学科

バンドン

2010

Universitas Kristen Maranatha

## 日本語の補助動詞「ておく」の構造の用法分析

### 序論

世界の言語はそれぞれ特徴を有している。例えば日本語である。日本語は様々の文の構造を持って、一つは補助動詞の「ておく」の構造である。一川（2005：214）によると補助動詞「ておく」は二つ意味を持って、それは「前もってする」と「そのままにする」と言う意味である。「前もってする」は「将来のために前に何かをする」と言う意味である。一方、「そのままにする」は「状況をそのままにやらせる」の意味を示す。意味的にはこの補助動詞「ておく」は意志動詞だけに付きますが、形態的には五段動詞と一段動詞と変格動詞に付くことができる。

### 本論

これらは補助動詞「ておく」の分析の例である。

1. はじめに、日本語教育において教科書とはどんな存在かを見ておきましょう。

(TMN : 10)

上記に補助動詞「ておく」は一段動詞の「見る」に付く。上記の文の補助動詞「ておく」の意味は「前もってする」。だから、上記の文の意味は日本語教育が始まる前に日本語の教科書とはどんな存在かを見て、調べると言うのである。

2. A: コップを洗いませんか。  
B: わたしがやりますから、そのままにしておいてください。(MNN : 38)

上記に補助動詞「ておく」は変格動詞の「する」に付く。上記の文では「そのまま」の副詞があるので、補助動詞「ておく」の発生意味は「そのままにする」の意味である。だから、上記の文の意味は B さんがコップを洗うので、そのままに置いておく。

3. 子供のやりたいようにやらせておく。(SNB : 214)

上記の動詞は五段動詞の「やる」から、使役形に変えて、「やらせる」になる。使役動詞は補助動詞「ておく」に付くと「そのままにする」という意味が発生する。だから、上記の文の意味は子供のやりたいことをそのままにやらせる。

#### 結論

著者の分析による、補助動詞「ておく」が様々な動詞に付く。形態的には、補助動詞「ておく」が一段動詞と五段動詞と変格動詞に付いて、統語的には他動詞と自動詞に付いて、意味的には意志動詞だけに付く。補助動詞「ておく」の構造は話し手の意志と関係があるので、一人称だけ使えますが、疑問文には二人称も使える。

補助動詞「ておく」の意味は二つある、「前もってする」と「そのままにする」である。文の中の補助動詞「ておく」が「そのままにする」の意味がある時は

二つの条件がある。一つは使役動詞に付けば「そのままにする」の意味が発生するはずである。二つは文の中に「そのまま」の副詞があれば、補助動詞「ておく」の「そのままにする」の意味も発生する。

## DAFTAR ISI

**KATA PENGANTAR**..... i

**DAFTAR ISI**..... v

### **BAB I PENDAHULUAN**

1.1 Latar Belakang Masalah..... 1

1.2 Rumusan Masalah..... 6

1.3 Tujuan Penelitian..... 6

1.4 Metode Penelitian dan Teknik Kajian..... 6

1.5 Organisasi Penulisan..... 7

### **BAB II KAJIAN TEORI**

2.1 Morfologi..... 9

2.2 Sintaksis..... 11

2.3 Semantik..... 13

2.4 動詞..... 14

2.4.1 他動詞 dan 自動詞..... 16

2.4.2 意志動詞 dan 無意志動詞.....	18
---------------------------	----

2.4.3 補助動詞「ておく」 .....	21
-----------------------	----

### **BAB III ANALISIS**

3.1 Kalimat Pernyataan.....	28
-----------------------------	----

3.2 Kalimat Tanya.....	44
------------------------	----

3.3 Kalimat Negatif.....	45
--------------------------	----

3.4 Kalimat Perintah.....	48
---------------------------	----

<b>BAB IV KESIMPULAN.....</b>	<b>55</b>
-------------------------------	-----------

<b>SINOPSIS.....</b>	<b>vii</b>
----------------------	------------

<b>DAFTAR PUSTAKA.....</b>	<b>ix</b>
----------------------------	-----------

<b>LAMPIRAN DATA.....</b>	<b>x</b>
---------------------------	----------

### **RIWAYAT HIDUP**